

会越国境

木地夜鷹山

野口

【日時】 2012年12月22日(土)～23日(日)

【メンバー】 L栗原、SL大野、野口

年末年始の山行に備えて、野口の雪上歩行・生活技術向上・ラッセル訓練を図るべく、栗原さんに山行を組んで頂いた。「ラッセル」という言葉から、フカフカの新雪をモフモフと泳ぐように掻き分けて進むものを想像していたのだが、そこで待ち構えていたものは・・・。

12/22(土)曇り

安座の集落を抜け、林道の始まりに車を停める。12月末にしては暖かく、そして雪も少ない。つぼ足で林道を歩き始めるも、すぐに雪があり、スノーシューに履き替える。林道は使われていないようで、橋が崩れていたり、スノーシューでの徒渉を何度か繰り返し、林道終点へ。

ここでアイゼンに履き替え、762ピークを目指し尾根に取りつく。



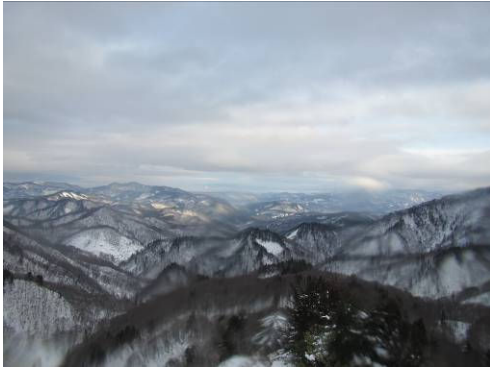
苦戦中の野口

ずっしりと湿った雪はなかなかアイゼンが効かず、木やヤブを掴みながら必死に先輩方についていく。湿雪と汗とで、びしょ濡れに。あれ？フカフカのモフモフは？うん、雪はいろんな状況を作り出すからこそ冬山は面白い。平らな所でもずぶずぶ埋まって歩きにくい中、平然と埋まらずに前に行く栗原さんに歩き方をお伺いすると、「ミズスマシのようにそっと。



木地夜鷹山頂にて①

そして、沈む前に次の一步を出す」とのこと。う～ん、とてもマネできない。栗原さんは忍者の末裔で、同じ原理で水の上も歩けるのではないか？などと勝手な妄想をしながら、やはりずぶずぶと埋まり後を追う。傾斜が緩くなってくると、スノーシューに履き替え、762ピークを越え木地夜鷹山頂へ。木地夜鷹山頂へと続く稜線は少し細く、注意しながら歩くも、足を滑らせ、ひやっとする場面もあった。気をつけねば。



終日曇りだったが、山頂に滞在している間は、青空も。初めて見る越後の山々にしばし見とれる。
山頂は気持ちいいが、時間が押しているので名残を惜しみながら後にする。
夜鷹山を越えて程無く幕営適地を見つけ、テントを張る。

木地夜鷹山頂にて②

12/23(日)雪のち晴れ

長期山行前の訓練を兼ねる為2泊3日の予定だったが、天気が悪そうなので下山することに。

雪は降っているが風は弱いので寒くはない。

尾根伝いに小ピークをいくつか越えながら高度を上げていくと、今回の山行の最高地点の大倉山 950.2m に到着。



ここからなだらかな斜面を降りていくと林道に合流。林道を伝って車まで戻り、行程終了。

1日短縮となったが、予定ルートを完遂することができ、満足の行く山行となった。

大倉山山頂にて

【感想】

徒渉に始まり、ヤブ尾根、ラッセル、やせ尾根と変化に富んだ楽しいコースでした。先輩方からは雪の歩き方、地図・コンパスの使い方、雪上生活技術と色々ご指導いただき、年末年始の山行に向けてとても勉強になりました。
越後の山、はまりそうです。

【行程】

12/22 安座(8:30)～林道終点(10:30)～c762(12:30)～木地夜鷹山(14:45)～夜鷹山(15:30)～夜鷹山近c1(16:00)

12/23 c1(7:00)～大倉山(10:00)～林道(11:45)～安座(12:15)

【地図】安座